

はじめに

本書の前身である「経食道心エコー法マスターガイド」(診断と治療社, 1998)を出版してからやがて20年になる。当時は経食道心エコー(以下, TEE)の教科書やガイドラインといったものはほとんどなく, 筆者自身は心エコーの専門医ではなかったが, 当時, TEEを学ぼうとしていた同僚のために, 数少ない文献と自身の経験をもとに作成したものであった。幸いにも簡潔な入門書として好評をいただき, 刷を重ねられたうえ, 2008年には一度改訂することもできた。

以前は心エコー専門医のみが施行するTEEであったが, 近年では心房細動のカテーテルアブレーション治療が普及し, 左房内血栓の有無の評価にTEEを行なうことが非常に多くなった。そうした流れの中で, 経胸壁心エコー(TTE)に加えてTEEをこれから学ぼうとしている若手医師や検査技師が増えている現状がある。

今回, 日常診療の合間に短時間でTEEのエッセンスをマスターできるように「newLearners' 経食道心エコー法テクニカルガイド」として装いを新たにした。できるだけわかりやすい図を用い, 具体的技術や必要な知識を簡潔に記載するよう心がけた。TEE初心者の方々にこの本が少しでも役に立ち, TEEがさらに普及, 発展することを期待するものである。

2017年3月

縦山 幸彦

国立病院機構東京医療センター循環器内科に赴任してもう11年になろうとしている。毎年, 数名の後期研修医諸君がおとずれ, そして, 巣立ってゆく。後期研修の期間には, 心電図, 心エコー, ホルター心電図, 心臓カテーテル検査など, 学ぶべき循環器検査法は多い。TEEの習得にこの薄っぺらな本を役立てていただければ幸いである。